

非正規社員の正社員化を求める 全国キャラバンニュース

2010年6月2日

第6号

郵政産業労働組合

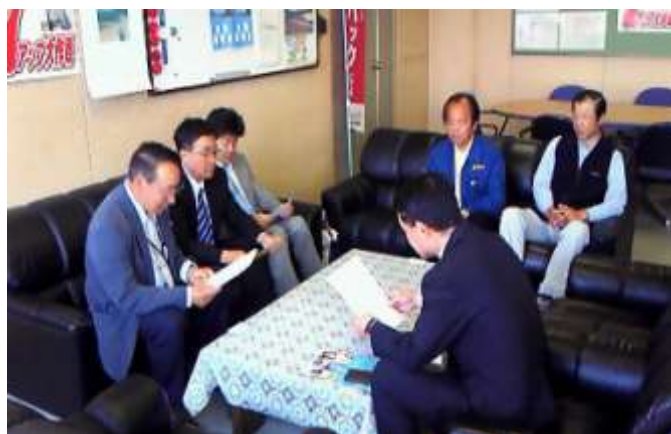
TEL 03-5974-0816

FAX 03-5974-0861

<http://www.yusanro.or.jp>

四国キャラバン、スタートする！

徳島・高知での宣伝と支店長要請行動！



徳島支店長への要請



高知局前宣伝行動

四国キャラバンの一環として、6月1日に徳島中央郵便局前での宣伝行動及び郵便事業徳島支店長に要請書を行いました。

徳島中央郵便局前の宣伝行動には、郵産労徳島支部2名のほか医労連、建交労、生協労連、JMIUから6人の計8人が参加し、午前7時30分から8時20分まで横断幕を掲げてマイクで宣伝しながら、ビラ150枚を配布しました。8時30分からは、支店長への申し入れを行い、川上隆幸徳島支店長が支店長室で対応し、申し入れの趣旨に賛同したうえで支社にも伝えたいとしました。

高知支部は、1日午前7時半から郵便事業会社高知支店前で、県労連傘下の労働組合のみなさんとともに宣伝行動に取り組みました。筒井支部長は、郵政における非正規社員のおかれている実態や会社から提示があった資格審査の内容を報告し、「正社員を希望する非正規社員を全員正社員に」していくためにも、労働者の思いに心をよせるたたかう労働組合の出番です。郵政における正社員化を日本の雇用の問題を転換させる転機に」と訴えました。

参加した県国公、県教組、自治労連、医労連の仲間から連帯と激励のあいさつが寄せられ、県労連の西山委員長は、「郵便局は地域の生活にとって欠かせない存在。その郵便局で働く労働者は正職員が当然。正職員が当たり前の社会、ルールある社会を作るため、ともに奮闘しましょう」と呼びかけました。10時半から、山地守郵便事業会社高知支店長と意見交換の場を持ちました。県労連から「非正規の正社員化は、公的サービスを提供する会社が安心・安全なサービスを提供するためにも必要なことだとアピールしてほしい」と申し入れました。山地支店長からは、「(正社員化については)提示以上の内容はまだわからない。要望書については真摯にうけとめます。」と述べました。11時半からは、高知県経営者協会に要望書を手渡し水田専務理事、川村常務理事・事務局長と懇談しました。水田専務理事は「正社員化については、おおきな流れとしては結構なこと。どんどんと儲けていけばいいが、個別企業の事情もある。」と述べました。